

# 2022年度（2023年3月期） 第1四半期決算説明資料

---

2022年8月9日

**H.U.グループホールディングス株式会社**

（証券コード：4544）

- 
- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
  - ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益」を「当期（四半期）純利益」と省略する場合があります。
  - ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
  - ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2021年度1Q : 1USD = 109.49 JPY 1EURO = 131.96 JPY

2022年度1Q : 1USD = 129.56 JPY 1EURO = 138.08 JPY

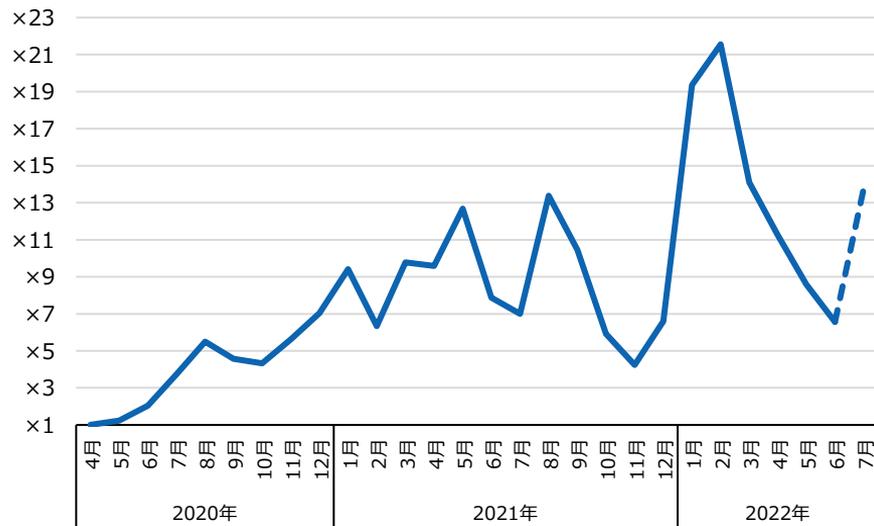
# 2022年度第1四半期のトピックス

---

# 新型コロナウイルスPCRおよび空港検疫所での抗原定量検査実施数

## PCR検査受託状況（新型コロナウイルス関連）

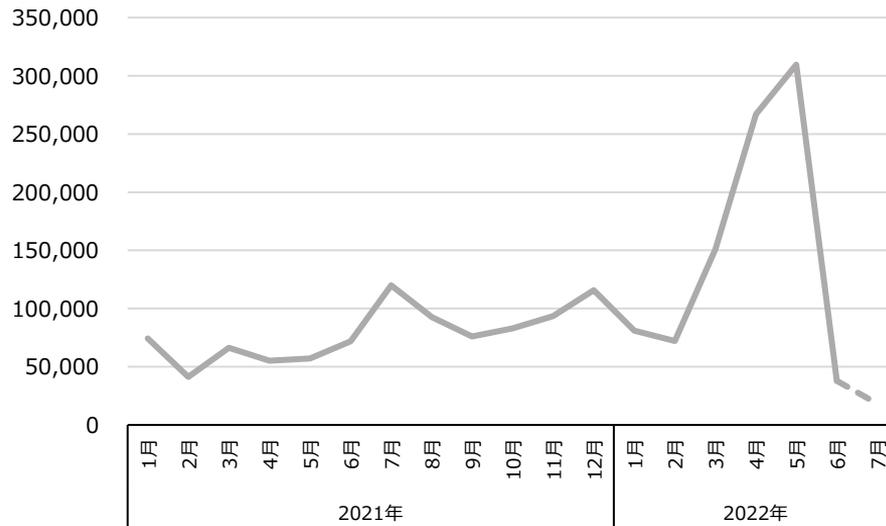
2020年4月の受託総数を1とした場合の増加率※1



2月をピークとして減少トレンド  
(7月からは再び増加傾向)

※1 SRL、日本臨床の全国での受託

## 空港検疫所での月次抗原定量検査実施数※2



4月5月は想定を大幅に上回ったものの、入国規制の緩和によって6月以降急減（7月も低水準が継続）

# 新型コロナウイルス関連検査の現状と見通し

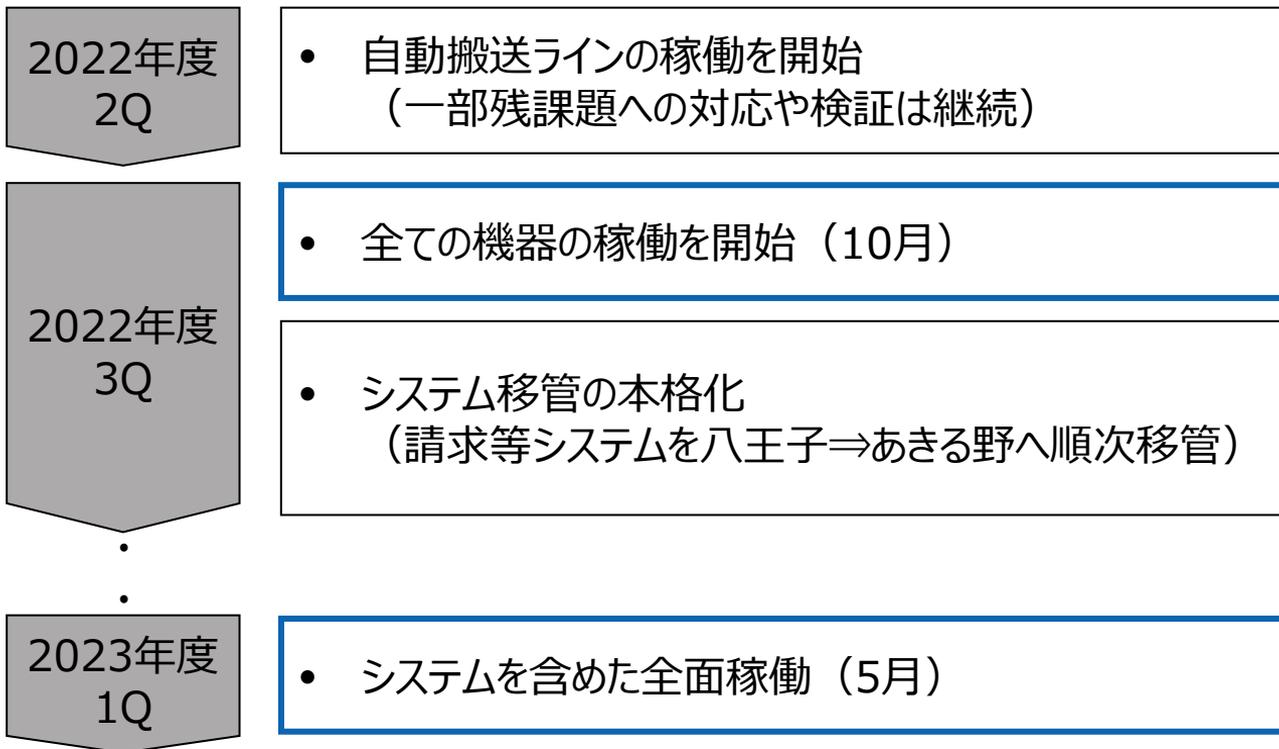
- 感染の高止まりによって1Qは期初想定を超過  
（107億円の想定に対して123億円：+15%）
- 2Q以降の先行きは依然として不透明

## 主な新型コロナウイルス関連検査売上高における**期初想定**との差異

	期初想定 (億円)	PCR	検疫所	国内 ルミパルス	エスプライン	連結 (億円)
1Q 実績	107	↓	↑	↑	↑	123 ↑
2Q~4Q 想定	210	先行き不透明				

# H.U. Bioness Complexの現状と見通し

## 23年度初頭の全面稼働に向けて計画を推進中



# 通期業績見通しについて

## 期初計画に影響を与える第2四半期以降の変動要素

- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況（スライド3,4）
- H.U. Bioness Complexの稼働状況（スライド5）
- 為替の影響

現時点で通期業績予想の見直しは行わない

アルツハイマー病領域およびCDMO戦略強化を目指す

- 2022年7月クロージング（22年度第2四半期より連結）
- 取得金額：40M€

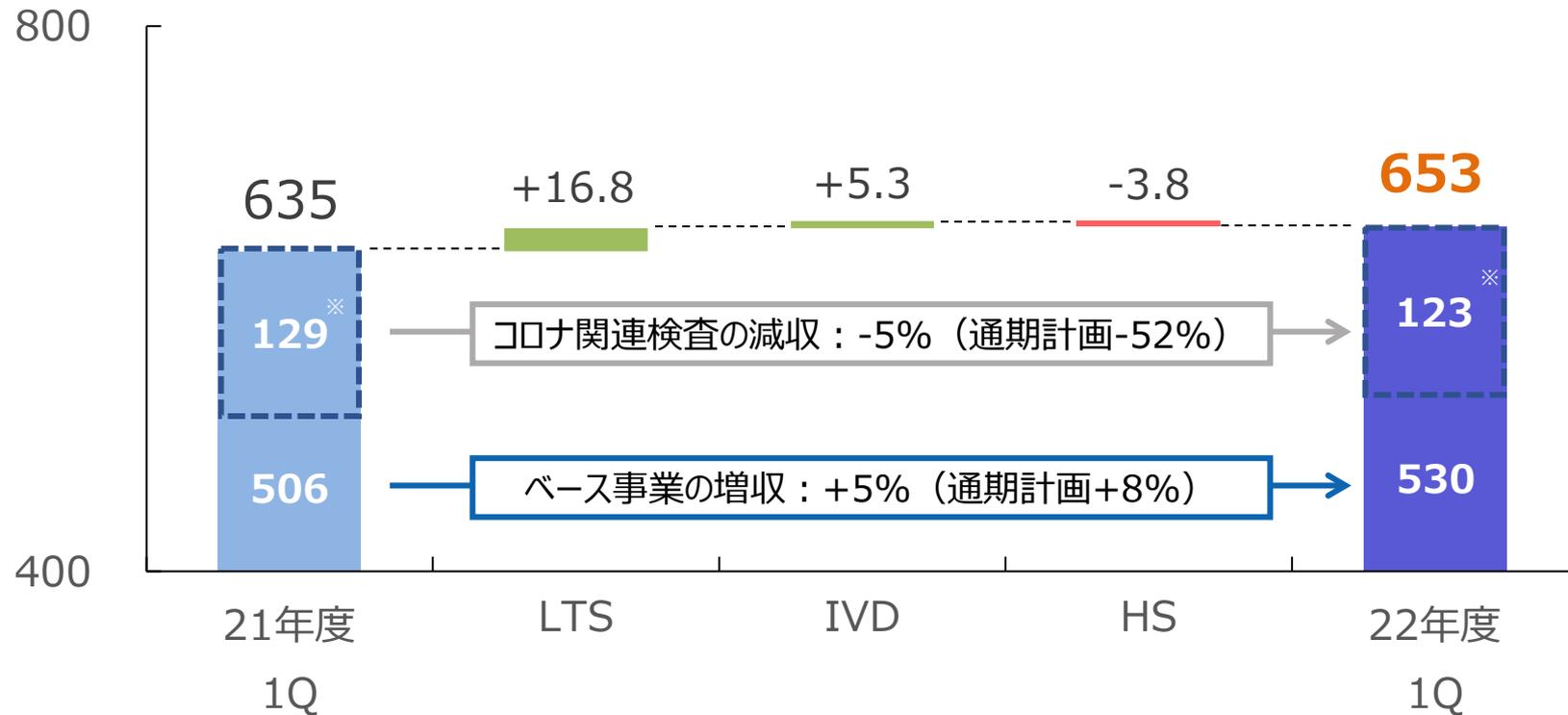


# 2022年度第1四半期決算概況

---

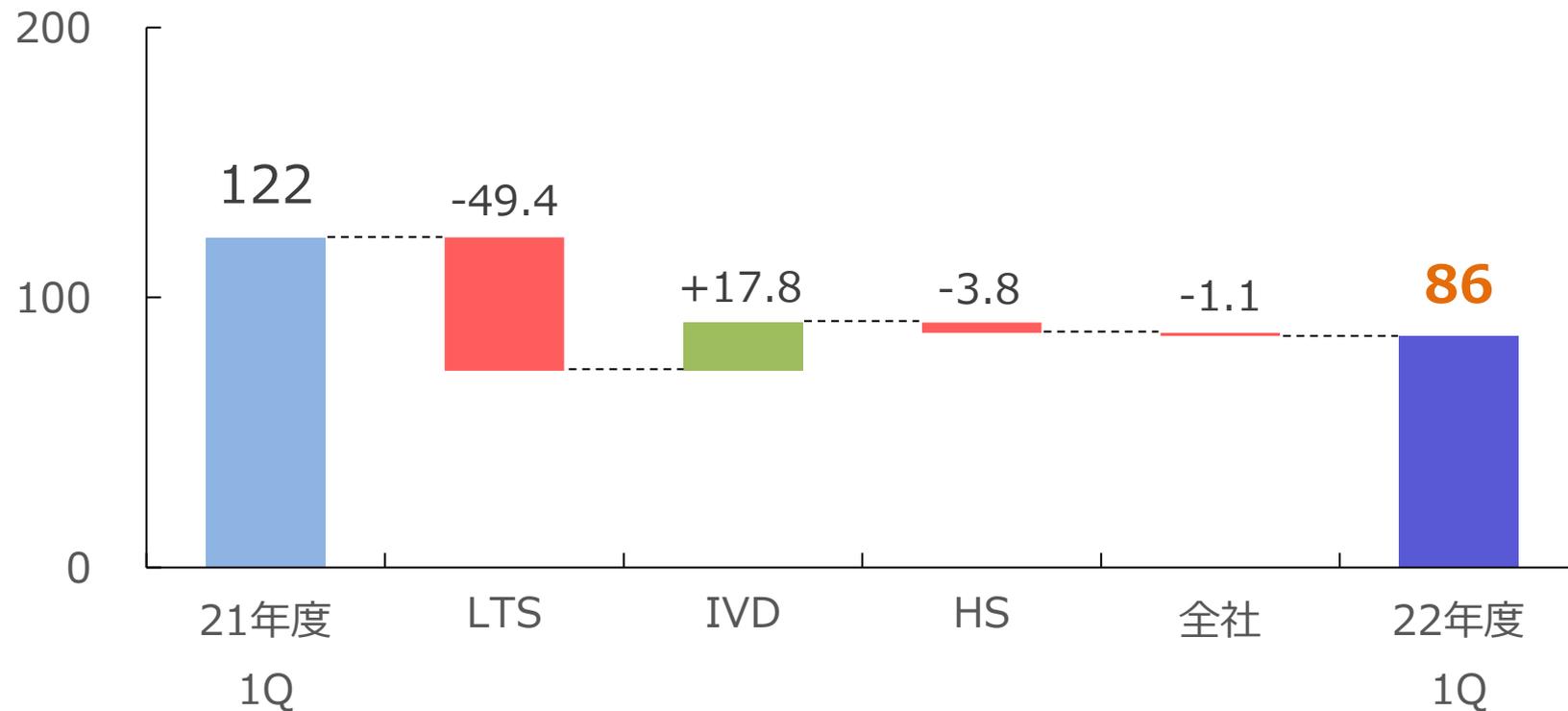
# 連結売上高 対前期比較

(億円)

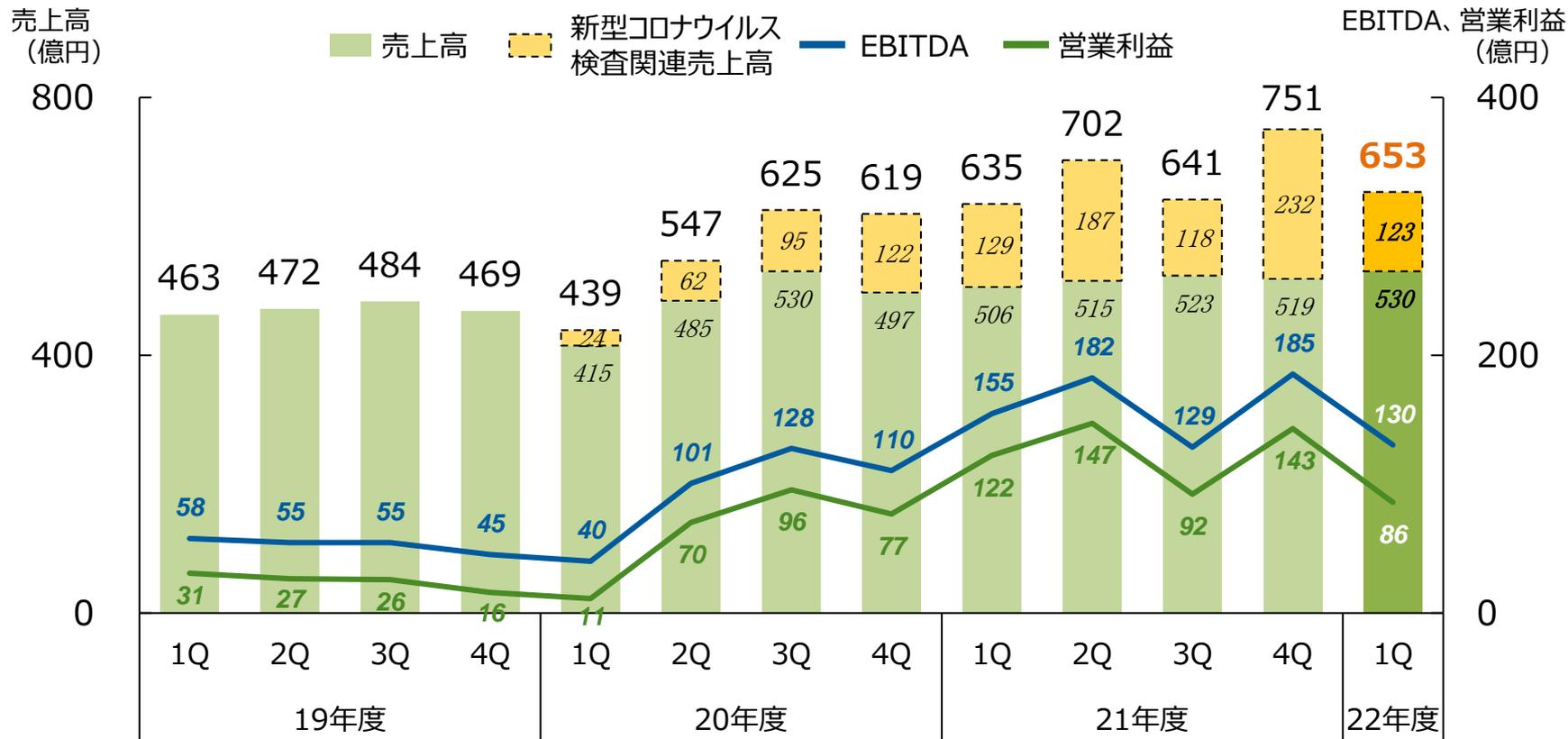


# 連結営業利益 対前期比較

(億円)



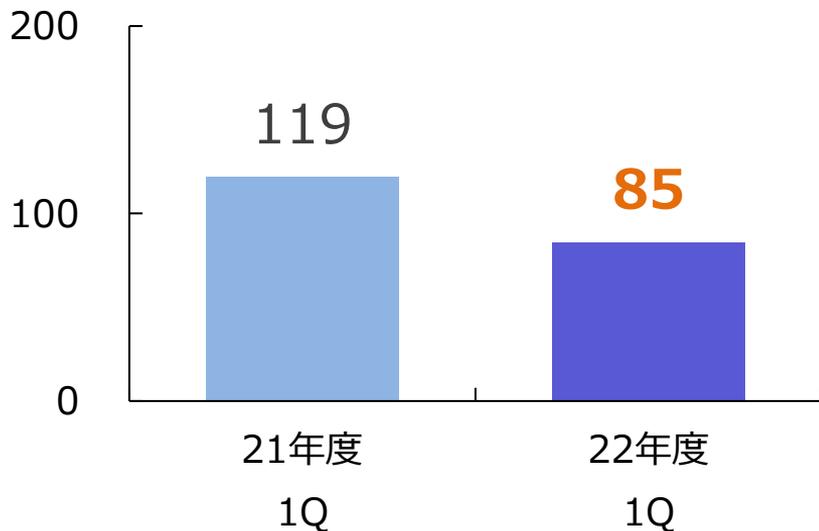
# 四半期毎の業績推移



# 連結経常利益および四半期純利益

## 経常利益

(億円)

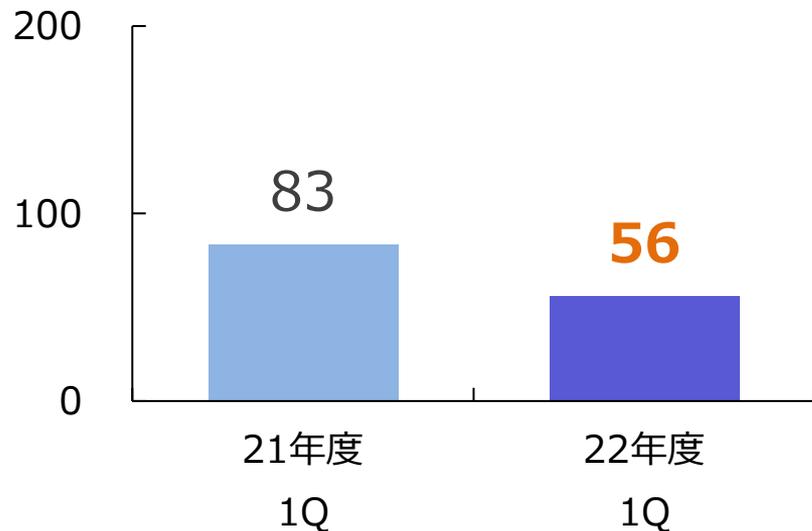


### 主な要因

- 持分法による投資損失 ▲7.7億円
- ✓ BMGL ▲4.7億円
- ✓ 平安保険グループとのJV ▲3.5億円

## 四半期純利益

(億円)



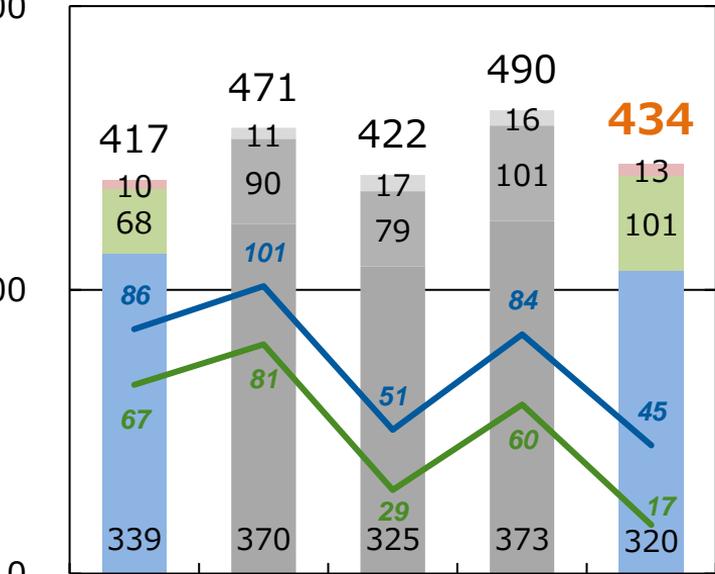
# LTS事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)

600

300



21年度 1Q 21年度 2Q 21年度 3Q 21年度 4Q 22年度 1Q

院外事業 院内事業 その他  
EBITDA 営業利益

EBITDA  
営業利益  
(億円)

200

100

0

## 対前期比

(億円)

	21年度 1Q	22年度 1Q	対前期比 増減	
売上高	417	434	+16.8	+4.0%
院外事業	339	320	-18.6	-5.5%
院内事業	68	101	+32.3	+47.3%
その他	10	13	+3.1	+32.0%
EBITDA	86	45	-41.0	-47.5%
営業利益	67	17	-49.4	-74.3%

### 売上高

- 新型コロナウイルス関連：約88億円（前期並み）  
PCR検査・高感度抗原定量検査は減少するも、空港検疫所における高感度抗原定量検査およびエスプラインの販売等が増加
- 遺伝子関連検査の増加
- テスト数の増加

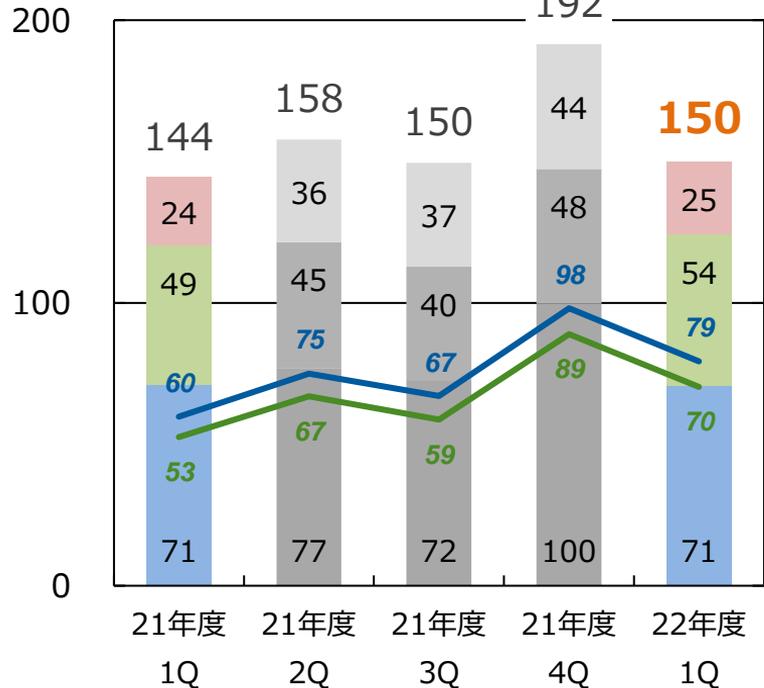
### 営業利益

- 新型コロナウイルス関連検査におけるPCR検査を中心とした診療報酬点数の減少
- H.U. Bioness Complex関連費用  
一時費用含む経費 25億円、減価償却費 9億円  
(前期：約8億円)

# IVD事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)



■ ルミパルス事業    ■ CDMO・原材料供給事業  
■ その他製品    — EBITDA    — 営業利益

EBITDA  
営業利益  
(億円)

200

100

0

## 対前期比

(億円)

	21年度 1Q	22年度 1Q	対前期比 増減	
売上高	144	150	+5.3	+3.7%
ルミパルス	71	71	-0.5	-0.7%
国内	60	61	+1.4	+2.4%
海外	12	10	-1.9	-16.4%
CDMO・原材料	49	54	+4.7	+9.5%
その他	24	25	+1.1	+4.7%
EBITDA	60	79	+19.6	+32.8%
営業利益	53	70	+17.8	+33.8%

ルミパルス 内販売上高	17	25	+8.7 <sup>※1</sup> +52.1%
-------------	----	----	---------------------------

※1 新型コロナウイルス関連検査試薬を中心とした売上高の増加

### 売上高

- 新型コロナウイルス関連：約35億円（前期：約41億円）
  - ✓ 欧州を中心に高感度抗原定量検査試薬の販売が減少
  - ✓ エスプラインSARS-CoV-2の販売増加

### 営業利益

- 増収および内販拡大による増益  
為替影響（売上高：+8億円、営業利益：+2億円）

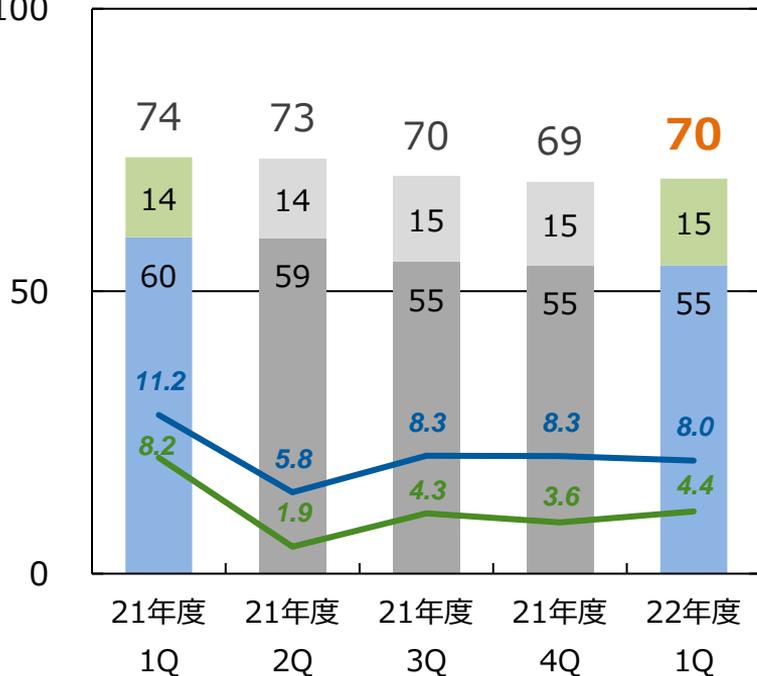
※2 2021年度第3四半期より、事業・製品特性を考慮し、OEM・原材料供給事業の名称をCDMO・原材料供給事業へ変更

# HS事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)

100



EBITDA  
営業利益  
(億円)

40

20

0

■ 滅菌関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業  
— EBITDA — 営業利益

## 対前期比

(億円)

	21年度 1Q	22年度 1Q	対前期比 増減	
売上高	74	70	-3.8	-5.1%
滅菌関連	60	55	-5.0	-8.3%
在宅・福祉用具	14	15	+1.2	+8.5%
EBITDA	11.2	8.0	-3.2	-28.9%
営業利益	8.2	4.4	-3.8	-46.3%

### 売上高

#### 滅菌関連

- 大口顧客における医材預託品販売契約の終了
- 物販を中心とした伸長

#### 在宅・福祉用具

- 堅調な成長

### 営業利益

- 人件費の増加
- 将来成長に向けた先行費用の影響

# 連結業績（対前年同期比）

(億円)

	21年度 1Q	22年度 1Q	対前期比 増減	
<b>売上高</b>	<b>635</b>	<b>653</b>	<b>+18.4</b>	<b>+2.9%</b>
LTS	417	434	+16.8	+4.0%
IVD	144	150	+5.3	+3.7%
HS	74	70	-3.8	-5.1%
<b>営業利益<sup>※1</sup></b>	<b>122</b> <b>19.3%</b>	<b>86</b> <b>13.1%</b>	<b>-36.5</b>	<b>-29.8%</b>
LTS	67    16.0%	17    3.9%	-49.4	-74.3%
IVD	53    36.4%	70    47.0%	+17.8	+33.8%
HS	8    11.1%	4    6.3%	-3.8	-46.3%
<b>経常利益</b>	<b>119</b> <b>18.8%</b>	<b>85</b> <b>12.9%</b>	<b>-34.7</b>	<b>-29.1%</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>83</b> <b>13.1%</b>	<b>56</b> <b>8.6%</b>	<b>-27.6</b>	<b>-33.0%</b>
<b>EBITDA<sup>※2</sup></b>	<b>155</b> <b>24.4%</b>	<b>130</b> <b>19.9%</b>	<b>-24.4</b>	<b>-15.8%</b>

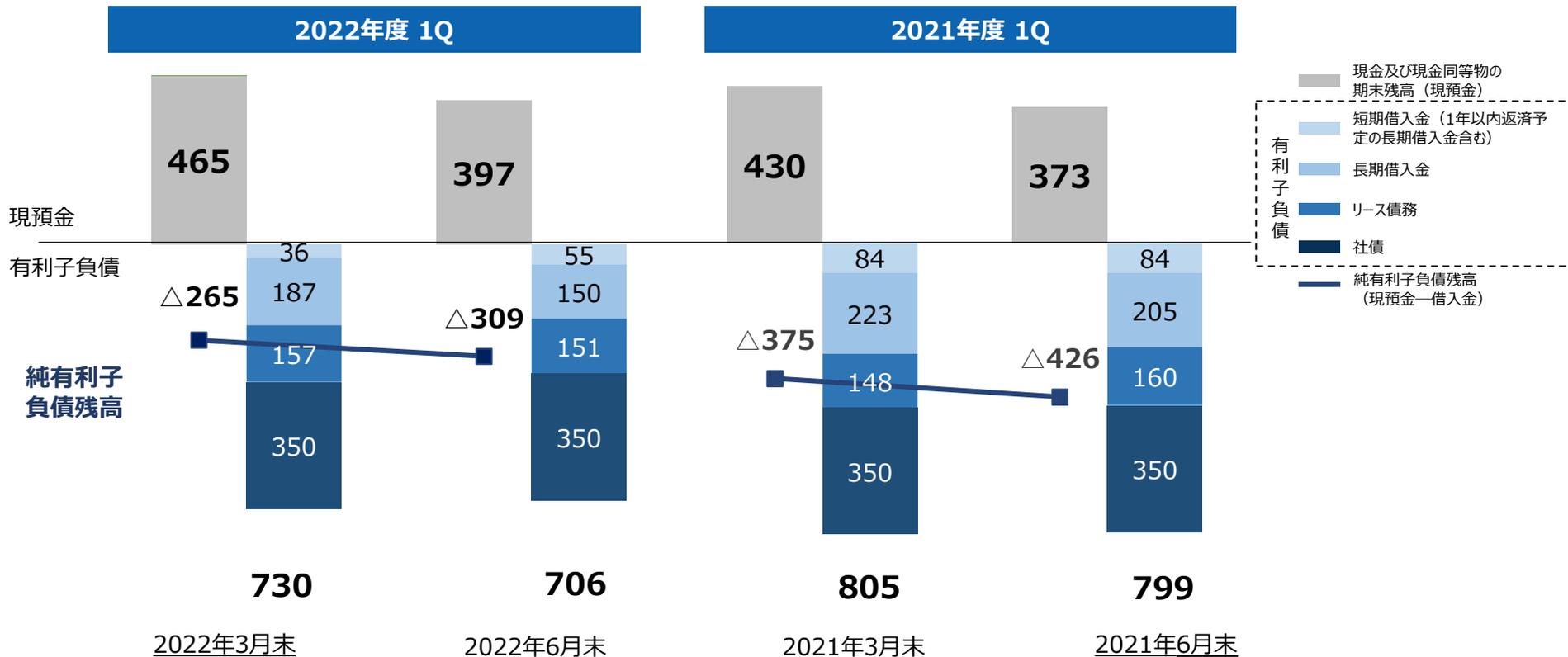
※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（21年度1Q：▲5.0億円、22年度1Q：▲6.1億円）

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

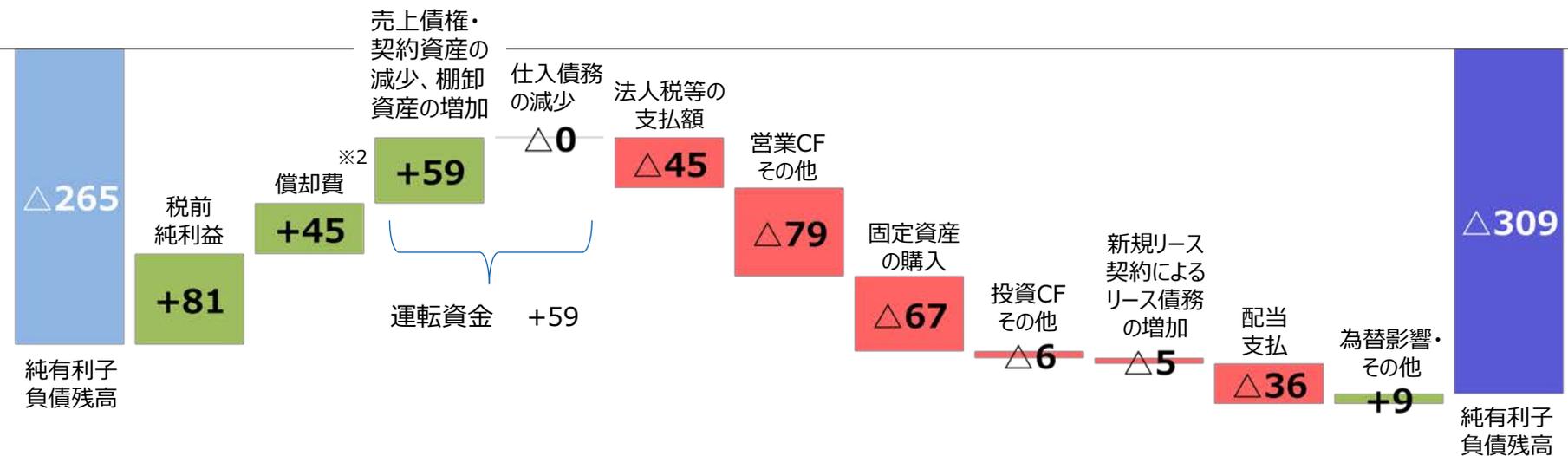
※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

# 現預金・有利子負債残高

(億円)

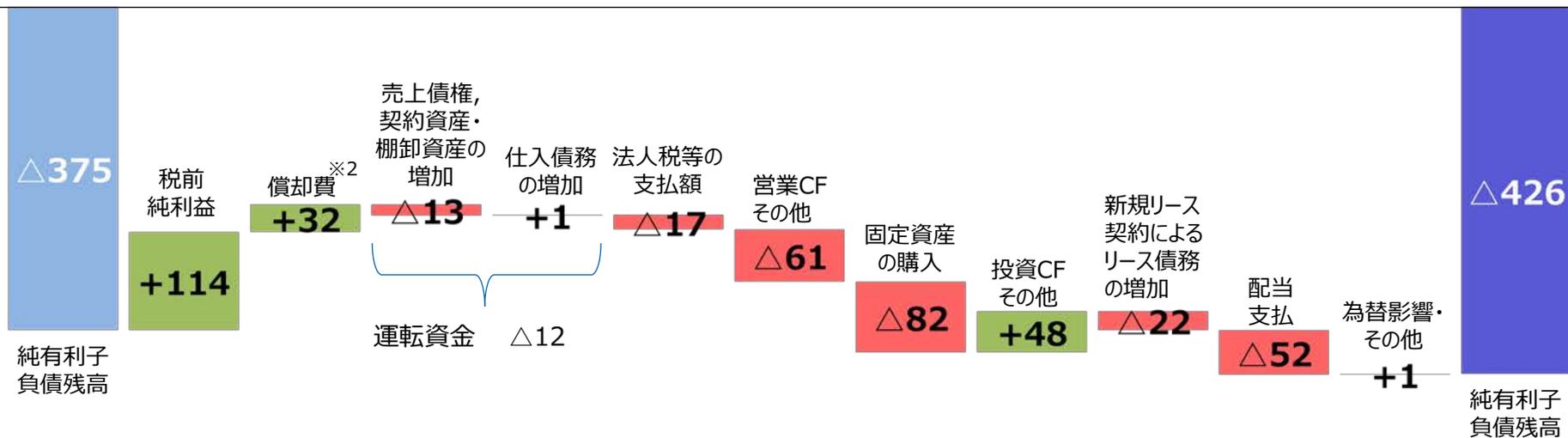


# 2022年度1Q連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



※1 純有利子負債残高  
 ※2 減価償却費+のれん償却額

# 2021年度1Q連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



※1 純有利子負債残高  
 ※2 減価償却費+のれん償却額

## 【連絡先】

**H.U.グループホールディングス株式会社**

**IR/SR部 ir@hugp.com**

### **将来見通しに関する注意事項：**

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。